

(1)

No.51 平成22年新年号

道南

北海道道南会会報

発行 2010年1月1日
発行所 北海道道南会事務局
連絡所 横浜市鶴見区生麦 4-9-13-803
TEL 045-505-9709
FAX 045-505-9709

函館雑感

北海道道南会副会長 沼崎 貞良

新年明けましておめでとございます。皆さまには新春をつつがなくお迎えのことと存じ、心からお喜び申し上げます。

皆さまと歩んでまいりました道南会も、本年7月にめでたく創立五十周年という大きな節目を迎えることとなります。首都圏には、約八十の「北海道ふるさと会」がありますが、その中でも道南会は五十年の歴史を築くことができますことは先輩各位のご尽力と会員の皆様のご協力によるものであり、改めて皆様に感謝申し上げたいと思いま

す。道南会は、現在三百五十人程度の会員で構成され、伝統ある会だけに幅広い豊富な人材を擁してありますが、一方では会員の高齢化が進んでおります。何としても若い会員を増やす努力が必要で、今後の重要な課題だと思えます。

また、道南会は、行政等からの援助を一切受けておらず、皆様の会費のみで維持されております。三年程前、会員の負担軽減と新入会員が入会しやすくなるために年会費を三千円に値下げしました。会報の発送も従来

の郵便からメール便を利用して経費節減に努力しておりますが、相変わらず年会費の未納会員が多く憂慮しております。未納会員の皆様の一層のご協力をお願いする次第です。

一昨年の金融危機から、ふるさと函館もその波をかぶっており観光客も減少しているようです。市当局においても、「水産都市」の復活を目指して、「函館国際水産海洋都市推進機構」等の様々な事業を展開しておりますが、当面は観光事業に頼らざるを得ないと思えます。五年後には、北海道新幹線が開通予定ですが、新函館駅と現在の函館駅が離れていることが問題で、これの解決が函館観光のポイントになることと思えます。

昨年、読売新聞の主催で、全国三百カ所の観光地の中から「平成百景」を読者投票で選ぶという企画がありました。およそ六十四万票もの投票総数の中から「函館の夜景」が九位に入賞しました。また、昨年九月には、「魅力あるマチ全国ランキング」で、函館が前回一位の札幌を抜いて堂々一位となりました。歴史のある異国情緒の街並

み、世界に誇る函館の夜景、さらに新鮮な海の幸等々が評価されたものと思われます。

また、昨年夏には、西波止場美術館前に「赤い靴の少女像」が設置されました。先日、私もこの像を見てきましたが、多くの観光客が少女像と手をつないで写真を撮っており、観光名所がまた一つ増えておりました。昨年九月末、見知らぬ方から一通の手紙が届きました。

『先日の飛行機の中ではお世話になりました。函館の観光は本当に素晴らしいものでした。貴殿より頂戴した函館観光大使の名刺を有効に活用させていたできました。素晴らしい街並みと数々の歴史的建造物、そして函館山からの夜景は想像以上でした。ガイドブックに載っていた喫茶店を探るのに右往左往しましたが、通りすがりの二人ずれの女子学生に尋ねたら反対方向なのに店まで案内してくれました。函館市民の皆さんの観光都市に相応しいホスピタリティに感激しました。』

それは、九月中旬に函館に行く飛行機で私の隣の若夫婦が分厚い函館ガイドブックを見ていたので、思わず「函館観光ですか？」と声をかけました。「親の勧めもあって二泊三日の函館観光に来た」とのこと。私は、函館観光大使を仰せつかっており、観光大使の名刺を切符売り

場で提示すれば函館山ロープウェイや五稜郭タワーが割引になることを説明して手渡したのでした。その文面から若夫婦の感謝の念が伝わってきました。そして、観光地函館を称賛され、また観光大使として少しはお役に立てたのではないかと嬉しく思いました。

冒頭にも述べたとおり、道南会は本年創立五十周年を迎えます。既に記念行事に向けてプロジェクトチームを立ち上げて、記念式典や郷土訪問、記念誌の発行等々を行うべく活動を開始いたしました。この五十周年記念事業に向けて皆様からの意見、ご提案をお寄せいただきま

すようお願いいたします。結びに、道南会も微力ながらふるさと函館市や、道南地方の発展の一助となるように今年も「けっぱり」たいものです。我々幹事も、もっともっと楽しい会に、そして函館弁を話す機会と同郷の仲間と会うことが待ち遠しくなるような、あすましい「会」になるよう努力してまいります。私自身も今年も傘寿を迎えます。心身ともに弱ってききましたのでそろそろリタイアと思っておりますが、与えられた期間を老骨に鞭打って頑張らせてまいります。

「道南会は永久に不滅です」。会員の皆様のさらなるご協力とご支援を期待してやみません。

(2)

函館市の動向について

函館市長 西尾 正範

新年あけましておめでとございます。

平成22年の新春を皆様とともにつつがなく迎え、お祝いできますことを心からお喜び申し上げます。

昨年、函館が、近代日本のさきがけとして、横浜、長崎とともに、国際貿易港として開港して以来、150周年という大きな節目の年でありました。

北海道道南会の皆様をはじめ、本当にたくさんの方々の温かいご支援のもと、記念の年を何とか盛り上げることができたものと思っております。

改めて、深く感謝申し上げます。

また、昨年10月に、東京で開催いたしました「はこだてフーデフエスタ」におきましても、道南会の皆様には、多大なご協力を賜りましたことに、重ねて厚く御礼申し上げます。

開港150周年を終えて

「開港」は、それまで鎖国政

策によって、海外との往来を制限してきた我が国に、人、物などの様々な交流をもたらし、函館のみならず、現在の日本の礎を築く上で大きな契機になりました。

また、開港150周年は、海を中心として港とともに歩みを進めてきた函館にとって記念すべき年となりました。

開港150周年を迎えるにあたり、2007年(平成19年)11月に市内の各界各層からなる「函館開港150周年記念事業実行委員会」を設立し、その下部組織である「函館開港150周年記念事業ワーキンググループ」に、多くの市民の方々の参画を得ながら、先人たちが築いてきた歴史や文化に触れ、まちの持つ資源や歴史を活かしながら、「みなとまち函館」を改めて世界に発信する契機としたい、という基本理念のもと、記念事業の取り組みを進めてきました。

記念事業として、前年の2008年(平成20年)には、機運の向上を図るため、シンボルマークやイメージシボスターの制作ウェブサイトの開設のほか、開港都市(横浜・長崎・新潟・

神戸)と連携し、プレイベント開港5都市「麵フェスタ」などを開催しました。

また、2009年(平成21年)に入ってから、市内各所に懸垂幕やフラッグなどを掲出し、街全体の雰囲気づくりにも努めたところでもあります。

開港記念日となる7月1日には、記念式典を挙行し、函館の未来を考えると、内容の市民劇のほか、多くの方々から寄せられた函館に対する想いなどの「詞(ことば)」を紡いでつくられたアニメーション・ソングの披露によって、ご来賓の方々をはじめ多くの皆様のご臨席のもと、開港150周年をお祝いさせていただきます。

函館が一年で最もにぎわいを見せる「函館港まつり」終了後の8月8日から8月16日の間、函館港のシンボリックな存在で、港内を一望できる「緑の島」において、会場を「夢」のたく



さん詰まった「箱」にしようという想いと「夢」のある「ハ」タテにしたい」という願いが込められたメイン事業「DREAM BOX 150」(ドリームボックス イチ・ゴー・マル)を「食」「音楽」「スポーツ」の3つのキーワードをもとに開催しました。

水産のまち函館ならではの「HAKODATE国際フィッシュマンズマーケット」や海と触れあうマリンスポーツ体験のほか、音楽団体などによるステージイベント、開港の歴史を学ぶコーナーなど、函館の特性を活かした様々なイベントやアトラクションが展開され、夏休み期間中の親子連れやお盆で帰省していた方など13万人を超える皆様にご来場いただき、盛況のうちにフィナーレを迎えることができました。

このメイン事業を通じて、市民をはじめ、多くの方々に函館の魅力度を再認識、再確認して



ただけたのではないかと考えています。

昨年中は、函館開港150周年記念の冠を付した様々な事業が展開されましたが、この記念事業を推進するにあたっては、前段でも述べましたとおり、多くの市民の方々に事業の企画・運営に関わっていただいたほか、貴会をはじめ本当に多くの団体・企業から多大なご支援をいただきました。

このように市民と行政が一丸となって記念事業を実現できたことによって、「市民協働」のひとつの型の提案に繋がりました。この実践例がこれからの函館にとって、貴重な財産になっていくことでしょうか。

また、記念事業の基本理念である、まちのもつ資源や特性を活かしながら、「みなとまち函館」を改めて、世界、未来に向け発信するひとつの契機になったのではないかと感じていま

昨年を振り返って

このように、昨年は、年間を通して、開港150周年を祝う様々な行事が開催されたところでありますが、これに加えて、全道商工会議所大会など、数多くのコンベンションが市内において催された年もありました。もちろん、関係の皆様が開港150周年にあわせて、それぞれ開港150周年の大会、会議等の誘致に努めていただいた賜であり、観光・コンベンション都市函館の将来方向を指し示すものとなりました。

また、関連する各種団体の周年行事も多く開催され、函館の歴史と文化の奥深さを改めて感じさせるものでした。

函館開港当時、イギリス領事館をはじめ数多くの外国公館が開設され、諸外国との交流が始まりましたが、そうした中、開港と同じ年に創立され、同じく昨年150周年を迎えた、函館の力トリック元町教会による布教活動は、1886年(明治19年)の聖保祿女学校(百合高校の前身)、1896年(明治29年)のトラピスト修道院、1898年(明治31年)のトラピスチヌ修道院の開設へと繋がっていき

(3)

ました。また、米国メソジスト教会に

よる遺愛学院も、1874年(明治7年)、その前身となる日学校開校から、昨年135周年の節目を迎えたところでありま

す。開港以来、全国・諸外国から多くの有志が集まり、宗教活動や教育事業、社会事業を立ち上げ、困難を乗り越えながら、明治、大正、昭和、平成と、連続と引き継がれてきた歴史の営みの結果が150年目の今日の函館です。

最も魅力的なまち

9月には、記念の年にふさわしく、喜ばしい知らせが突然舞い込みました。

「最も魅力的な市町村」のランキングで函館市が初の1位になったことです。

㈱ブランド総合研究所による地域ブランド調査(認知度や魅力度、イメージなど全36項目で調査)で、札幌や京都、横浜、神戸を抜いて函館がトップになることができました。

観光都市としての知名度は高くても、一地方都市に過ぎない函館がどうして?と不思議に思う市民も多かったと思います。しかし、全国の方からはそう見られていてということへの感謝の気持ちを抱くとともに、改め

てこの機会に自分たちを見つめて直してみたいと思います。

やはり、観光業界はもとより、開港150周年記念事業への市民ぐるみの活動が大きな力となったものであり、加えて、インターネットの動画投稿サイトYOUTUBEで大人気を博したイカール星人君も頑張ってくれました。

野外劇やバル街・湯の川オンパク・クリスマスファンタジー・函館イルミネーション映画祭・子ども歌舞伎・北海道国際交流センターの活動等々、他の都市にはない、ありとあらゆる市民活動に加えて、一昨年、昨年からは、「はこだて国際民俗芸術祭」は「はこだて国際科学祭」といったグローバルなイベントが開催され、魅力ある取り組みが国内外から注目が集まりました。これらをきっかけとして、国境を超えた幅広い文化交流の大きなつねりに繋がっていくことを大いに期待するものであります。

函館のまちの美しい地形や異国情緒漂う町並みとあわせて、函館が持つ150年の歴史・文化とこころした市民活動、市民の精神性こそが、函館の居すまい、たすまいとなり、高い好感度が得られるイメージを形成し全国に発信している結果が魅力度1位ということなのではないかと感じていきます。

冬の魅力度アップを目指して

前述した数ある市民活動の中でも、「はこだてクリスマスファンタジー」は、平成10年のスタート以来、毎年もみの木を贈ってくださるカナダの姉妹都市・ハリファックス市との友好の絆と、地域全体の「市民力」を支えられながら、今年で早や12回目を数え、今や北海道の冬を代表する光のイベントに成長しました。

海に浮かぶ高さ20mのクリスマスツリーがベイエリアを照らし、入り江を輝きで満たす夕暮れ時、大勢の人々が賑わう赤レンガ倉庫群前や七財橋は、温かな光と幻想的な雰囲気包まれます。そして、観客の感動と興奮が頂点を迎えるのは、やはり毎晩6時のツリー点灯と湾内で打ち上げる美しい花火でしょう。浪漫の街ならではの、この



(いずれも2月末まで開催)さらに、観光客と市民が共同で手作りしたキャンドルを函館山登山道や港が丘通りなどの散策路に

魅力的なイベントは、一年を通じて多彩な行事が行われること函館においても依然高い人気を誇り、たくさんの方にリピーターを惹きつけ、冬季観光の大きな原動力となっています。

例年、12月1日を初日としておりましたが、今年は期間中の土日を一週多く設定するため、3日前倒しして、さらに多くの観光客の皆様に来ていただけるよう11月28日の土曜日からスタートしたほか、今年で3年目となる、人気のスノーバー・プーアスも、店舗数、種類を充実させるなど、イベント自体も年々進化を重ね、新しい魅力を加えております。

このクリスマスファンタジーと同じ日に始まったイベントが、特別史跡「五稜郭跡」の周囲を約2,000個の電球で輝かせる「五稜星の夢」(ほしのゆめ)と八幡坂や二十間坂など元町地区を華やかに彩る「はこだてイルミネーション」です。

(4)

配置しながら、明かりを灯して歩く参加型イベント「光の小径」(2月上旬に開催)も、今年は3年目を迎え、徐々に知名度が上がってまいりました。

上期に比較すると、どうして、下期の観光客数が相当落ち込むのは否めませんが、ただ、クリスマスファンタジーをはじめとする、これら各種の取り組みが奏功し、12月で見ると、以前と比べおおよそ倍の観光客が来函するようになっています。

道南会の皆様におかれましては、まだまだ首都圏では知られていない、こうした函館の冬の魅力を是非とも積極的に宣伝していただければ幸いです。

函館開港150周年をオール北海道のイベントとして盛り上げていくために、昨年協力依頼で札幌に出張した際、ある企業のトップの方から、単なるお祭ではなく、次の200周年を目指したまちづくりへのきっかけにすべきだ、という、励ましの言葉をいただきました。

「それでは来年からは151プロジェクトですね」とお答えしましたが、気持ち新たに再スタートのつもりです。皆様のお知恵をいただきながら、市民の安心・幸せと地域の活力・元気、人づくりのため、各般の施策を一つひとつ前に進めていきたいと考えております。

開港200周年に向けた第一歩

昨年の当初予算では、1248億円という、5年ぶりの積極型・増額予算を組むことができました。

また、6月から9月にかけては政府の経済危機対策を受けて、公共事業を含む25.7億円の補正予算を組むこともできました。しかし一方で、景気の先行きが不透明なうえ、少子高齢化と人口減少など社会情勢が悪化する中で、市民生活はまだまだ厳しい環境下に置かれていると言わざるを得ません。

市政運営は市民の皆様のご厳しさを原点として、やれることから積極的に手を付けていくという気持ちで取り組んでまいります。今年7月には待望の箱館奉行所もオープンします。12月には東北新幹線新青森までの開業により、関東以北との交流面で大きな流動が生まれてきます。

今年にはピンチをチャンスに！チャンスはより大きなチャンスに！を合言葉に職員共々頑張っていますので、北海道道南会の皆様におかれましては、市政に対する温かいご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、川守田会長様をはじめ会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。

函館市民が作る映画が2月クランクイン

『海炭市叙景』

函館(西高)が生んだ作家・佐藤泰志原作

函館の市民が映画製作

映画化の構想は函館の市民映画館「シネマアイリス」の菅原和博代表(52)が近年の邦画界の動きや、函館を舞台に撮影された作品などを見る中で、函館の市民生活者の視点で映画が作れないかと考えていた際、『海炭市叙景』を読む機会を得た。これこそ観たかった映画だと直感し、活動を本格化させた。その後佐藤泰志の西高校の同期生で、『はこだてルネサンス』事務局長の西堀滋樹氏(58)に構想を提案。2人が中心になって佐藤泰志への思いを共有する仲間を集め準備会を立ち上げた。

製作実行委員会の菅原代表は『この作品には地方都市で生きるさまざまな形の家族の物語がある。これは今の時代に合致するテーマであり、多くの人に訴える要素となる』と熱く語る。事務局長の西堀氏も『地元出身作家の映画化は函館市民の手で作りたい。市民が世代を超えて映画製作を体験し、フィルムに変化していく街並を刻み、財産としても残したい』と話している。

主演に加瀬 亮さん内定



加瀬 亮さん

11月に『海炭市叙景』の主演となる加瀬亮さんの他に小林薫、南果歩、谷村美月さんの4人が内定。加瀬さんは2008年製作された『それでもボクはやってない』で日本アカデミー賞主演男優賞を獲得。今回の『海炭市叙景』の監督を務める熊切和嘉さんの作品『アンテナ』で映画初主演を果たしており、脚本を読んで出演を希望したという。加瀬さんが出演する映画はどれも興行収益が良く、話題作となるのは間違いないと思われ、他の出演者も脚本に引かれて出演を要望している。

市民募金と製作費

製作費の総額予定は4000万円、市民募金として1000万円を目指して10月現在で750万ともう一息といったところ。

監督の出身地帯広からは企業協賛としてお菓子の六花亭が100万円の大口募金もあった。実行委員会は資金集めの一つとして、『映画ファンド』を導入し個人、法人からの投資資金を集めている。ファンドプロモーターの前田紘孝さんも函館出身(柏野小・深堀中)、俳優としても映画製作(ウオーターボーイズ)に関わった事があり、函館発の映画に協力したいとファンドの提案を受けて応援をしている。



海炭市叙景

(5)

佐藤 泰志(ごとうやすし) 一九四九年〜一九九〇年



昭和24年 4月26日、高砂町(現・若松町)にて生まれる。松風小学校から37年旭中学校に入学。3年生の時、『赤蛙』を読んで、が第10回北海道青少年読書感想文コンクールに入選する。

昭和40年、函館西高等学校に入学。41年、小説『青春の記憶』で第4回有馬青少年文芸賞優秀賞を受賞。42年、函館西高等学校で防衛大学校入学説明会阻止闘争が起こる。この事件を伏線に書かれた小説『市街戦の中のジャズメン』で第5回有馬青少年文芸賞優秀賞を受賞。

昭和45年、国学院大学文学部哲学科に入学する。46年、大学の同級生・漆畑喜美子との生活を始める。49年3月国学院大学を卒業。市役所を15カ所受けるも全部不採用となり、その後職を転々とする。小説『颯風』が第39回文学界新人賞候補となり本格的に作家生活に入る。昭和56年から4年間芥川賞の候補になること5回。将来有望な新鋭作家として囁みされた佐藤泰志だったが、平成2年10月10日、自殺。享年41歳であった。小説『海炭市叙景』は執筆中で遺作となった。

益田喜頓生誕百年記念ミュージカル 「案山子物語」

郷土が生んだ俳優、益田喜頓さんの生誕百年を記念して、喜頓さんが生前作った、函館市民ミュージカル「案山子物語」が、若い頃から活躍し住み慣れた、東京浅草の劇場で上演された。

今年6月2日、長崎、横浜と同時に開港してから、百五十年を迎える年でもあり、函館市、函館市教育委員会などの諸団体で、実行委員会を構成、この成功に市を挙げて力を尽くされた。

喜頓さんは明治四十二年九月十一日、函館市青柳町で生まれ、市立弥生小学校を卒業し、庁立函館商業学校時代は野球部で活躍、後に社会人野球の名門「函館大洋倶楽部」に在籍したことがある。

その後役者の道を志して上京し、吉本興業に入った。昭和十一年、川田義雄・芝利英・坊屋三郎らと、コミック音楽グループ「あきれたぼういず」を結成。ジャズや流行歌の替え歌からハロディ、ギャグで一世を風靡した。昭和三十三年、東宝演劇部

「案山子物語」

に入社、菊田一夫脚本・英国「チップス先生さようなら」の日本版「がっこの先生」やミュージカル「マイ・フェア・レディ」などに出演し、毎日芸術賞・演技賞を受賞する。

そして、「王様と私」「屋根の上のヴァイオリン弾き」と次から次へとブロードウェイ・ミュージカルに出演し、「屋根の上のヴァイオリン弾き」の司祭役では、四十二年の初演以来九〇七公演に出演を重ねた、日本ミュージカル育ての親の一人である。

平成二年、故郷の函館に「永住帰郷」を果たし、帰郷後は仕事の傍ら講演活動なども行っていた。他にも「野外劇」のナレーションや、函館ミュージカル劇場が、平成六年に上演した「案山子物語」の原案を作るなど、函館市民の中に溶け込み、活動を共にしていたが、公演の本番を見ることなく、平成五年十二月に八十四歳でその生涯を閉じた。

この記念事業は平成二十一年八月、案山子物語函館公演を開演、九月に喜頓さん出演の映画上映会と喜頓メモリア

ル・アラカルト展示会、そして九月二十日の「案山子物語」

浅草公演と続き、締め括りとして函館で、喜頓さんを偲ぶ会が行われた。

浅草公演では、台東区、荒川区の子供たちにも、ミュージカルのダンスシーンに出演の協力を依頼し、この「案山子物語」を通じて、函館市と台東区、荒川区との地域間交流を図る狙いもあったと聞いている。

この「案山子物語」浅草公演の開演に当たり、北海道道南会を始め、函館の高校同窓会の方々が、「東京在住のわれわれが協力して、是非この公演を成功させたい」と言う気持ちで、関係者に呼びかけをし、道南会では月例会の催しとして企画した。

公演は浅草公会堂で午前十二時と、午後四時の二回行われた。会場入口には開演三十分ほど前から大勢の人が列を作り、道南会や各高校同窓会の方たちの顔が見られた。五百人もの人で埋まった会場の、前方の座席に喜頓さんの、にこやかに微笑んだ遺影が置かれ、穏やかなまなざしで舞台を見つめ、開演を静かに待たせられた。



川守田 孝平記

野町で、じつちゃん案山子と一緒に田圃を守る、案山子のペコが、二本足を手に入れるために世界を旅し、愛と平和の大切さを訴えると言うものである。

小学生から大人までの出演者が、この日のために厳しい稽古を続けた、歌ありダンスありの躍動感溢れる、素晴らしい演技に感動し、惜しみない拍手をおくった。

喜頓さんが作られたこの物語には、人間を愛し平和を愛した、喜頓さんの気持ち深く現れていたように思う。何度モ何度モ繰り返されるカーテンコールのなかで、客席からじつと演技を見ていた喜頓さんの、大きな拍手をなさっている姿が見えた。

(6)

函館の思い出・北洋漁業

榎木 久澄

わが町、知内町は、函館から西に約四十二km、渡島半島の南西に位置し、東側は津軽海峡を隔てて青森県下北半島を望み、木古内町・福島町・檜山管内上ノ国町と接し、平野や段丘地が広がる三方を山岳に囲まれた町です。町のほぼ中央をシヤケが遡上する知内川が流れ、その流



域は農地として、また海岸線は砂浜半分と蛇の鼻・爺岩・イカリカ島・立岩など形も名前も奇妙な奇岩怪岩が連なる変化に富んだ岩礁地帯が半分の半農半漁の町で青函トンネルの北海道側出入り口の町でもあります。ここ知内町は、今から約一万年四千年前の旧石器時代後期に人が住み始めてから一万年、歴史ある町に生まれ育った私は、学校卒業後函館の某会社に就職した。当時、ディーゼルカーでの通勤で冬になれば大雪のため電車が来ず、会社にはしばしば遅刻となるので、冬季節のみ新川町の知人宅に下宿した。

私が函館生活を送った昭和三十年代は、「もはや戦後ではない」との経済白書が発表された日本経済が好況の波に乗る時代。函館の産業経済と市民生活を支えてきた北洋漁業（北洋サケ・マス漁業）、すなわち一隻の母船を中心に、数十隻の独航船が船団を組んで漁業を行う母船式漁業の基地として、大規模な船団の各母港は活況に沸いた。函館港を母港とした日魯漁業の母船第一振興丸は函館港を基地とし、乗子・漁具・燃油・水・食糧・その他必要物資の調



達その他、船団員の保健にも当たる医療従事者をも乗せて春に出港し、ペーリング海・オホーツク海に数カ月とどまって操業した。

この船団が組まれる春の函館市は、道内はもとより、遠く本州からも漁師が集結、繁華街である十字街・大門一帯の飲み屋や飲食店の入り口には「祝・北洋漁業」のステッカーが貼られ、それはそれは賑やかな街へと一変するのだった。

この北洋漁業の独航船に大縄町で床屋を営む私の友人の倅が漁船長として乗り込んだので、出港するとき岸壁まで見送りに行った。出港当日は、朝から打ち上げ花火が上がり、華やかな花電車が行き、西浜岸壁は多数の見送りの人々の波で埋め尽くされて、まさにお祭り騒ぎであった。数十隻の独航船が所狭しと並び、きらびやかにはためく大漁旗をなびかせて、数カ月

(7)

鉄道唱歌 北海道版

道南会員の佐藤マサさんが、「道南会の皆さんにお見せしたい」と言って、「鉄道唱歌」の歌詞を頂戴した。以前、平成十一年新年号の「道南」に、当時の松前会会長、弦巻綱男さんが『北海道鉄道唱歌・南の巻』を寄稿して下さったが、それは内容が違ってもので、ここに紹介したいと思う。

鉄道唱歌 北海道一周

作詞 高祖研 岡田千枝

- 一、汽笛一声 函館をはやわが汽車は はなれたり
- 函館山に 入りのこる
- 月を旅路の 友として
- 二、右にきれいな 駒ヶ岳
- 詩人 啄木 墓どころ
- 雪は消えても 消え残る
- 名は千年の 後までも
- 三、窓辺に近く 大沼の
- 広い水面 美しく
- 蓴菜沼や 小沼あり
- 山は蝦夷富士 羊蹄山
- 蟹で名を売る 長万部
- 湯の香ほのかな 登別
- 昭和新山 後にして
- 港 小樽も 懐かしく



- 五、一八〇万の 大都会
- 花とトウキビ 雪祭り
- 世界の人が 訪ね来て
- 時計台の 鐘が鳴る
- 六、札幌後に 特急で
- 行けば 帯広 一走り
- 煙たなびく 阿寒湖の
- マリモに アイヌの
- ロマンスよ
- 七、旅情豊かな 知床や
- 静かに眠る 摩周湖と
- オホーツク埋める
- 流水と
- 八、サロベツ原野の 花畑
- 最北端の 稚内
- 感慨無量の 海原に
- かすむサハリン
- 九、平和交流 船の旅
- いつの日か

ワセダ出の医者

道南会顧問 新谷 義克



私は、ワセダ出身の医者です。ワセダに

は医学部はないはずですが、しかし、私の医学部を含めた学生時代から医師として現在に至るまで常に心の故郷として私の心の底には青春時代を過ごしたワセダが存在しているのです。それで、冒頭のことくワセダ出身の医者だと自任しているわけです。私とワセダの出合いは昭和二十六年、西高校から入学したときに始まります。五年かかって昭和三十一年に卒業しましたが、ひとより一年多くいたのでよけいワセダに愛着を感じるのかも知れません。医学部に行つたのは特に崇高な精神があったわけではなく、何となく医者になりたかったといういい加減な動機でした。

当時は二年間教養を終了した後でなければ医学部は受験できないシステムで、その受験資格のため三年の時、東邦大学理学部の一年に入学、ワセダの三・四年と東邦大学の一・二年をダブルうまうまいけばワセダの法学

部卒業と同時に医学部に直行という計算でしたが、世の中そんなに甘くはなく四年で卒業できず、医学部受験にも失敗し、学内一浪後の翌年やっと法学士と医学士の肩書を手に入れたわけです。医学部卒業後は、飯田橋の警察病院に勤務し、当時ワセダの学生・職員との定期身体検査にたびたび大隈講堂に診察に行き、卒業後のワセダの杜を懐かしんだものでした。約十年間外科医として修業した後、昭和四十四年現在の府中に開業し、地域医療の一端を担いつつ老人福祉に目を向け、昭和五十四年八王子に特別養護老人ホーム倍楽園をつくり、現在百名の老人のお世話をしております。ホームでは職員の協力のもとにいろいろなレクリエーションを企画したり、自由にコーヒィや酒類が楽しめるスナック・バーをつくったり、食卓では何時も温かく品数も多く好きなものが食べられるバイキング方式を取り入れたりしており、医者仲間にはワセダで無駄飯を食っただけあってユニークな運営だと褒めてくれております。更に、岐阜県中津川市に特養老人ホーム二カ所、養護老人ホーム一カ所、瑞浪市に特養ホーム一カ所、函館に特養ホーム一カ所と小規模多機能ホーム一カ所をつくり現在運営しております。その他、ワセダで学んだも

間離れる肉親との別れ……。妻が夫を、子が父を、息子を親が、そして友人知人ご近所の人々が、力の限り「気をつけて」「ガンバッテ来て」「早く帰ってきて」「はては、パパ行かないで」と泣き叫ぶ声の中を、蛍の光のメロディーがワンコーラス流れたところで、一斉に鳴らされる編鐘の音と哀愁を帯びた汽笛がそれをかき消して、乱舞していた五色のテープがぶつんと切れる……。今日も淋しく汽笛を鳴らし波止場を出てゆく船がある。夢を求めて幸せを求めて この船にサヨナラサヨナラ 胸に沁みます 揺ります 風も泣いてる別れの波止場。演歌の世界そのままの光景を目にするのであった。さて、出港から数カ月、無事に帰ってくるその日にくだんの漁船長、函館湾に入港したある瞬間、すでに待機していた仲間の漁船めがけて、密閉された一斗缶に浮をつけて五、六缶投下する。それは素早くかつ大胆に行つたこと。仲間回収されたその一斗缶の中身はと言えば、作りたての筋子とイクラ。そのお裾分けをいただいた我が家のお正月のご馳走ともなるのだった。

- 田沼 修二
道南会名誉会長
- 川守田 孝平
道南会会長
- 沼崎 貞良
道南会副会長
- 薬袋 泰
道南会副会長
- 三村 寿雄
道南会常任幹事

の網元もその恩恵に浴していた。当時中学生だった私も、イカが乾きあがる少し手前の段階で整形作業のアルバイトに行き、小遣い稼ぎをやつたことを思い出した。イカの耳を踵で押さえ、開いたイカの両端を両手で引つ張って形を整えた。二十枚一束で確か十円だったと記憶している。昭和二十年代はイワシやスルメイカの大豊漁に沸く日々、近隣の農家の主婦たちもこぞつて浜に行つて、イカ割き・水洗い・乾燥・整形等の加工作業に従事。作業はすべて手作業のため、家庭の主婦の「出取り」といつ、今では「パート労働で賄われていた。しかし、あれほどの漁獲量があったスルメイカも、回遊が北海道の東部海域に移動したことにより函館港のイカ釣り漁船は年々減少を続け衰退を余儀なくされた。このようなときに、前述の北洋漁業再開というビッグチャンスが訪れ、いわば日魯漁業の城下町、北洋漁業の基地であった函館市は日本の独壇場となった。しかし、栄華を誇つた北洋漁業もやがて衰退、今では沿岸漁業の昆布やホタテの養殖で食いつないでいるのが現状だと思います。我々道南会のメンバーが少しでもふるさと函館に観光客を送り込むことに一役買いたと思う今日この頃です。

(8)

の生かし、立川簡易裁判所の民事調停委員と東京地方裁判所の鑑定委員を務めたり、ラグビーを高校、医大でやっていた関係で関東ラグビー協会のドクターとして魔法のヤカンと共にグラウンドを走りまわっており、時に母校出場の早明・早慶戦を担当することもあります。

今シーズンは十一月の早慶戦を担当しグラウンドで負傷者を診察している場がテレビに写り知人達にテレビに出てたネと云われています。来シーズンは早明戦を担当する予定です。

以前にも、道南会の会報に書いたことがあります。函館時代の私は不良少年だったせいで、東高(帯広柏葉)中部高校と渡り歩いて最後に西高を卒業しました。現在もワセダには早稲田大学商議員としてタッチしています。

今は私を育ててくれた函館に老人ホームをつくりまた「ふるさと納税制度」に協力し「函館人」の名称をもらったりで故郷に多少の恩返しができ、医者を目指して良かったなあと思う今日この頃です。



函館白百合学園出身
プロ囲碁棋士の
下坂美織さん



囲碁との出会いは小学二年生。囲碁好きの父から姉と一緒に手ほどきを受けた。「子どもころの私は相当な負けず嫌いだっただけで、試合に負けるたびに号泣していました」と下坂さん。目の前でここにこしている姿からは想像できない。「負けたくない。その思いだけです」と囲碁を続けている気がします。

高校時代に全日本女流アマチュア選手権で優勝してからは「日本で一番強い囲碁サークル」に入りたくて早稲田大学に進学。早速、早稲田囲碁会に入会したが、そのレベルの高さに自信を失ったという。

ずっと挑戦してきたプロ登用試験もトップとの厚い壁に阻まれ、一度はプロへの道をあきらめかけたが、「でも囲碁以外に、自分の集中できるものはない」とそう実感した下坂さんは「今年が最後の挑戦の年」と覚悟を決

め、女流特別採用試験に臨んだ。見事第一位となり、プロになることが決定した時は「父が一番喜んでくれたと思います」と語る。

「最後と思って臨んだ対局は今までになく苦しいものでした。それだけにプロ合格報告の電話を実家にかけた時には、いろいろの思いが込み上げてきて、言葉もなく泣いてしまいました(笑)」と振り返る。

結局たどりつくのは「自分のすべてを集中できるものは囲碁しかない」という思い。対極のあった朝は大好きな歌手の曲を聴いて活を入れ、試合に勝ち、夢を自分の手につかんだのだ。

四月からはプロとしてトーナメントに出場している。勝ち続けることが一番の目標だが、「発想の柔軟性を自分なりに鍛えることも、目下の目標です。どれだけ先の展開を読めるかが、勝負の決め手になるだけに自分自身人間性も深めなくちゃと思っています」。

下坂さん自身は自分の棋風を「じっくり攻めていくタイプ」と分析しているが、今後は臨機応変に対応できるようにになりたいという。四回目の挑戦でやつとつかんだプロの道。「職業はプロ囲碁棋士、と胸をはって言えるように鍛錬するのみです」とほほえんだ。



下坂美織さんと白百合同窓会の田代さん

「プロフィール」
一九八七年北海道帯広生まれ。函館白百合学園高等学校卒業。早稲田大学教育学部四年。二〇〇九年、日本棋院女流特別採用試験に合格し四月よりプロ棋士として活動を開始。早稲田囲碁会にも所属し、大学選手権でも活躍中。〇八年全日本女子学生本因坊戦では三位入賞。勝負の曲はケミストリーの「約束の場所」。

下坂美織さんの存在を知ったのは早大会報に載っていた記事を見た新谷義克道南会顧問が、道南会会員で白百合東京同窓会の田代さんに連絡をした事から会話が実現しました。女子の囲碁プロ試験では1年に1人しか採用されない難関の道。平成21年の採用試験は1月に行われ6勝1敗で優勝。4回目の挑戦で道産子初の女流プロ棋士の誕生となった。道南会としても応援して行きたいと思っています。

新谷 義克

明けておめでとうございます
道南会顧問

郷内 繁

明けておめでとうございます
道南会顧問

朝倉 敏夫

明けておめでとうございます
道南会会員

安達 昌子

明けておめでとうございます
道南会会員

池田 幹雄

明けておめでとうございます
道南会会員

ふるさと・同窓会だより

第四回 万年橋会
夏季懇親会
事務局 本間 和吉

当会は、三年程前、道南会新年総会場で万年橋小の名札を付けた二人(朝倉敏夫、本間和吉)の出会いから始まりました。「万年橋小に縁のある人を集めて、弥生会みたいな会ができたらよいですね」と意気投合し、お互いに知っている人の名簿を作成、十五名の方々に案内を送りました。

二〇〇八年一月十九日の道南会新年総会終了後、日本プレスセンター九階の記者クラブサロンで五名の参加を得て、万年橋会が発足しました。以来、道南会新年総会・夏季懇親会の終了後のその都度懇親会を重ね、会員も現在三六名に増えました。

今回(第四回)は、総勢十八名の参加を得て、夏季懇親会を開き、実に楽しい時間を過ごすことができました。会員の年代層も昭和十七年卒から昭和三十三年卒と幅広く、お互い近所で小学校時代を過ごしたこともあり、学校のこと(戦中から戦後にかけての話、思い出等)思い出のお店の場所やら、近所



のあの方、この方等々、お互いの思い出と記憶を呼び起こし、とにかく楽しく語り合い、ふるさと会、同窓会の良さを満喫しております。

これからも道南会の行事日程に合わせて、懇親会を開催したいと思っております。

ぜひ、万年橋小学校にご縁のある方、当会へご参加ください。大歓迎します。
連絡先・当会事務局・本間和吉
電話・FAX 〇四二(一五三五)二二九七

「東京上磯会」
定期総会・懇親会

道南会副会長 葉袋 泰
「第15回東京上磯会定期総

会・懇親会」は、平成21年10月17日(土)ホテルパシフィック東京、30階スカイラウンジブルーパシフィックで、創立15周年総会・懇親会として、13時より会員及び関係者72名、来賓9名が出席して盛大に開催された。

総会では役員改選人事が審議され、長年会長としての要職に在られました郷内会長が相談役になられ、新会長には金谷忠勝氏が選任されました。また、新副会長には前事務局長の小松直樹氏、事務局長には前監査役の坂本東洋志氏が選任され、他の新役員を含め役員の若返りが図られました。議事終了後、金谷忠勝新会長の挨拶のあと、来賓の紹介があり、来賓を代表しての北斗市高谷寿峰副市長のご挨拶で、ふる里の現況、今後について紹介され、続いて北海道ふるさと連合会会長(東京ふるさと岩内会会長)伊野達也様のご挨拶(ご発声により祝宴に移った)。

東京上磯会総会では、創立15周年記念事業の一環として、北斗市社会福祉協議会に対し寄付行為(10万円)をする件が承認され、席上、同会への寄付金の贈呈がなされた。

懇親会では、新入会員4名が紹介され、舞台では尺八、踊り、漫談、歌、新・上磯音頭等が披露され会場は大いに盛り上がり

千代ヶ岱小学校
東京地区同窓会第三回総会
道南会常任幹事 菅原 大作

「東京千代ヶ岱」(函館市立千代ヶ岱小学校東京地区同窓会)の第三回総会が、十一月二十八日(土)午後二時三十分より、東京・中央区日本橋兜町の「ライメン・古寿茂」で、開催された。

この日の会には、昭和十一年卒業の神山茂郎、山村実氏を始め、昭和三十二年卒の渡辺徹氏まで、年齢差二十一歳という幅広い年齢層の同窓生二十二人が出席した。出席者の内訳は、昭和十年代が四人、昭和二十年代十一人、昭和三十年代が七人、



会では、最初に会長の富田洋一氏が、「同窓会には、規約などが整っておらずこれから皆さんと相談して決めて行きたいが、まずは毎年継続して総会を行うことで、出席者が増えることが先決」とあいさつ。続いて、神山名譽会長が音頭を取って乾杯し、懇親会に移った。そして、しばらくは通学路や学校や自宅近くの思い出話などの話題で盛り上がりつつあった。

この後、自己紹介を兼ねて卒業年次と在校当時の思い出話を披露していただいたが、小学校という極めて狭い範囲から通っており、互いの自宅が近所同士だったことが分かるなど、非常に和やかな雰囲気の中でお酒と料理を楽しみつつ交流を深めていた。会話はつきなかつたが、午後四時過ぎ、全員で新旧の校歌を斉唱した後、記念写真を撮影し、次回の再会を約束して散会した。

なお、千代ヶ岱小東京同窓会は、現在名簿搭載者が二百五十二人おりますが、引き続き同窓生の掘り起こしを進めております。千代ヶ岱小の同窓生をご存知の方は下記事務局までお知らせください。
東京千代ヶ岱事務局
(千代ヶ岱小東京地区同窓会)
〒一八一・〇〇三三
調布市染地二の八の三E一〇一
FAX 〇四二(八四八)三八六七

(11)



函館は、この百五十年間に様々な経験をしてきた。日本有数の漁業基地だった時代もあれば、戦後の荒廃の中で苦しい時代もあった。しかし、今日の函館を見れば誠に穏やかで美しく、文化的にも有数で立派な町になった。これからもより一層良い町として育ってほしい。我々もできるだけ協力したい。来年は、道南会創立五十周年。今後とも、郷里と連携して発展していきたい。本日ご参集の皆さんのご健康とご多幸を願って盃をあけたい」とあいさつして乾杯し、懇親会が始まった。

会場内には、函館市の観光ポスターが貼られて雰囲気盛り上がる中、函館関連の各種資料なども紹介されたほか、会場の各所で懐かしい函館弁の会話が飛び交うなど、和やかでアットホームな会が続いていた。

菅原大作記

(10)

平成二十一年度 夏季懇親会

九月五日(土)、午後十二時から、JR山手線・大崎駅前の中華料理店「謝朋殿大崎店」で、来賓・会員百十四人が参加して夏季懇親会が開催された。

島田瑞子さんの司会で会が始まり、最初に、川守田孝平会長が「今年は、函館開港の百五十年を迎え、七月一日に記念式典が、そして様々な関連イベントが盛大に行われたと聞いています。また、函館に縁のある「赤い靴の少女」の像が建立された。この像の制作には会員の皆さんに寄付金等のご協力いただいた。改めて御礼申し上げます。九月二十日には、益田喜頓生誕百周年を記念して、喜頓原作の函館市民ミュージカル「案山子物語」の公演が浅草公会堂で行



われる。在京高校同窓会を通じて切符販売が行われているが、若干席に余裕がある。皆さんの一層のご協力をお願いしたい。道南会は、来年(平成二十二年)七月に創立五十周年を迎える。これに向けて記念式典を始め、記念誌の発行、ふるさと訪問旅行などを行うべく、準備を開始した。道南会が未永く続くよう活動を進めたい。

本日の会場は初めてなので何かと行き届かないことがあるが、時間の許す限りお楽しみいただきたいと思います」とあいさつした。

続いて、来賓の鈴木敏博函館市観光コンベンション部長、金山正智函館文化スポーツ振興財団理事長、松田直記北海道国際航空東京支店副支店長、サッポロ飲料山田素氏を紹介。来賓代表として、鈴木部長が「市観光コンベンション部は、昨年従来の商工観光部を経済部と観光コンベンション部の二つに分けて発足。コンベンション部は、観光に限らず各種の会議や集会などに多くの方々に函館に来ていただく」と活動している。

道南会は来年創立五十周年のこと。道南会には、企業誘致や中央省庁との橋渡しや観光P

同窓会の活動状況

- ◎白楊ヶ丘同窓会(函館中部高) 東京支部親睦大会 十月二十四日(土) 雲山会館 二百二十七名
- ◎東京弥生会 十一月七日(土) 謝朋殿大崎店 十三名
- ◎遺愛女子高校同窓会 東京支部クリスマス会 十二月三日(木) アイビーホール青学会館 百九十四名

平成二十一年度 夏季懇親会出席者

- 〔来賓〕
- 函館市 観光コンベンション部長 鈴木敏博
函館市文化スポーツ振興財団 理事長 金山正智
北海道国際航空 松田直記
東京支店副支店長 山田素
サッポロ飲料 山田素
- 〔参加者〕
朝倉敏夫、安達昌子、泉龍夫、板垣寿見子、梅田やよい、大坂のぶお、大坂光代、荻野幸平、小川アイ子、小山内八重、



Rにもご協力いただいている。これからも引き続きご協力ください。

今年、開港百五十年というところで、八月の港祭りでは同時間開港した横浜、長崎、新潟、神戸の各都市から各地のお祭りをお呼びして盛大に行った。また、八月中旬には函館港の緑の島で、ドリームボックス一五〇」と名付けた食や音楽などを中心とする様々なイベントを実施。観光客や市民延べ十三万人が参加して大きな盛り上がりを見せた。

また、昨年からは始まった「ふるさと納税制度」では、これまで九十件約五百四十万円納税していただいたが、今後ともご協力をお願いしたい。

今年も函館、クリスマスファンタジーが十一月末から始まるが、冬の函館を大勢の方々に見に来ていただきたい。函館を元気にする活動を続けていくのご支援をお願いしたい」と述べた。



金山理事長は「文化スポーツ振興財団は、函館市民会館を中心に文化・スポーツの企画事業を推進している。今度浅草公会堂で行う市民ミュージカル「案山子物語」は、八月二十三日に函館で二回公演を行い大成功したが、函館公演は市民や関係者だけの言わば身内だけの評価。函館の文化の力を検証するためにも市民以外の人々に見ていただき評価を受けることが大切と考え、今度の浅草公演に踏み切った。平成十六年に初めて行った函館子ども歌舞伎東京公演は大成功を収め、今や全国各地で公演を行って、その人気は全国区となった。市民ミュージカルも子ども歌舞伎と同様に大きく育てていきたい。九月二十日の案山子物語の浅草公演を多くの方々に鑑賞いただきたい」と述べた。

その後、川守田会長が「長い



間監査役をされていた瀬田松吉昭氏が三月に体調を崩されて辞任の申し出があった。監査役人事は総会決定事項だが、長期間の空席は避けたいので、後任に新山春一顧問に就任いただくことにした」と報告。監査役の交代を提案し、承認を得た。

また、神山茂郎氏が、父親の函館郷土史家・神山茂氏の書籍などについて、「父が昭和九年の大火後二年の歳月をかけて編纂した。函館教育年表」をこの程復刻した。神山茂著作集」と、函館郷土史家・神山茂の追憶をそれぞれ出版したが、多少残部がある。ご希望の方は函館市本町の厚生院にお問い合わせいただきたい」と紹介した。

引き続いて、十三人の新入会員を紹介した。

そして、田沼修二名譽会長が「今年は、函館開港百五十年。

新入会員紹介

- 岡島 紀久 (弥生小卒)
- 小野寺和行 (万年橋)
- 本間和吉さんの紹介
- 金本 慎郎 (函館付属)
- 沼崎貞良副会長の紹介
- 八畝 武・優子 (大中山)
- 汐谷進さんの紹介
- 柴崎 貴子 (東京かみのくに会)
- 薬袋泰副会長の紹介
- 小川アイ子 (東京かみのくに会)
- 三品真紀子 (東京かみのくに会)
- 望月美千子 (東京かみのくに会)
- 柴崎貴子さんに同行
- 道畑 栄子 (八幡)
- 佐藤妙子さんの紹介
- 柴田 孝 (函商卒)
- 汐谷進さんの紹介
- 大坂のぶ夫・光代 (常盤)

()内は出身小学校または出身地



明けておめでとうございます
道南会幹事

泉 龍夫

明けておめでとうございます
道南会会員

市川 一彦

明けておめでとうございます
道南会会員

梅田 やよい

明けておめでとうございます
道南会会員

遠藤 勝利

明けておめでとうございます
道南会会員

岡島 紀久

(12)

道南会行事報告

サッポロビール千葉工場見学
八月二十九日(土)午前十一時、JR総武線の津田沼駅に集合、送迎バスで工場に向かった。

土曜日ということで、生産ラインは止まっていたが、ビールの原料や生産工程、古いボスターの展示コーナーなどを千葉工場の名物ガイド嬢鈴木さんの説明を聞きながら見学した。
この日は残暑が厳しく、最高気温が三十度。に達する絶好のビール日和。工場見学の後には、ビールが待つ会場へ。早速乾杯し、美味しいビールで乾いた喉を潤した。名物ガイド嬢の鈴木さんに「ビールの正しい飲み方、背筋を伸ばし、胸を張る」という説明と彼女の見事な実技(飲みっぷり)に圧倒されながらも皆次々とグラスを干していた。



ビールと料理を楽しんでいるうちに時間となり、お土産のビールグラスをいただいて、津田沼駅へ戻り駅頭で散会した。参加者五十名。

「夏季懇親会」
九月五日(土)十二時開会
謝野殿大崎店(別掲)
葛西臨海公園の散策

十月十日(土)午前十一時、JR京葉線・葛西臨海公園駅に集合。曇り空の中、園内をゆっくり散策しながら徒歩で十五分程の人工渚へ到着。あいにくの曇り空、しかも満潮時と重なって、水辺で遊ぶこともできず。間もなく小雨が降り出したため、園内を移動して、東京水辺ラインの船着き場で雨宿りをして、その後、雨がやむのを待って、川向うに東京デイズニラードを望む休憩場所に移動して、昼食にした。昼食時には、



お互いに持ち寄ったご馳走やお菓子、お酒、ワインなどを酌み交わしてしばらく歓談。懐かしい函館弁での会話や故里の思い出話などに花を咲かせた。昼食後に、鳥類園のウォッチングセンターで水鳥の生態観察を行った。センター近くの池の畔で記念撮影後、自由解散とした。

なお、この日は、付属の東京都葛西臨海水族園の開園記念日ということで、園内では和太鼓奏者による演奏や、木材加工の実技指導など各種の催しが行われていたほか、水族園が無料公開されており、鳥類園での解散後もそれぞれが水族園の展示の中でも有名なクロマグロの群れのダイナミックで雄大な泳ぎの見学や、ペンギン、海鳥の生態、渚の生物、海藻の林など、様々な海洋生物の展示を楽しんだ。参加者三十名。

六義園・紅葉狩り
十一月二十八日(土)午前十一時、JR山手線・駒込駅集合。紅葉が街まで降りて一番の見ごろという今日、六義園は大勢の紅葉狩りの人で賑わっていた。
六義園は、川越藩主・柳沢吉保が元禄十五年に築園。「回遊式築山泉水」の大名庭園と言われ、四季を通じて楽しめる庭園。この日の参加者一行は、しだれ桜の前から、池に映える赤や黄の美しい紅葉を眺めながら歩

き、小春日和の暖かい日差しを浴びながら、茶店の前の席を借りて昼食。楽しい和やかな一時を過ごした。参加者四十三名。



訃報

- 吉井 聆子さん
平成二十一年死去
- 柴田 英昭さん
平成二十一年五月死去
- 松原 竹造さん
平成二十一年七月五日死去
- 池上謹之助さん
平成二十一年八月二十日死去
- 佐々木理夫さん
平成二十一年十月十日死去

謹んでご冥福をお祈り致します。

編集後記

二〇〇九年は、函館開港百五十年の記念の年。そして、二〇一〇年は、道南会創立五十周年の記念の年。我々は、二度と訪れることのない歴史的な機会に遭遇することができることになりました。

私は、「一期一会」という言葉が好きです。「一期一会」とは、スーパードサランによる「茶会に臨む際には、機会は一生に一度のものとして、主客ともに互いに誠意を尽くせ」と。また、「ことわざ辞典では、「茶道の心得から出た言葉で、仮に何度主人と客としての関係をもとうとも、その日の出合いは一生に一度だけのものと心得て交わるべきだ」とあります。人との出合いは、道南会を始め、同窓会、クラス会、飲み会、ゴルフコンペ等々、数多くありますが、それらはすべて「一期一会」と考え、次の機会があるからと簡単に約束をキャンセルすることは新しい人との出合いや楽しい一時を自ら手放しているのではないかと思われます。

喪中はがきで親しかった人が亡くなったことを知られることが多いと思われませんが、人との交流は、常日頃から、「一期一会」と心得たいと考えています。(編集者)

会報「道南」
二十二年・新年号・通巻51号
発行 平成二十二年一月一日
発行所 北海道道南会事務局
横浜市鶴見区生麦
四九 十三 八〇三
川守田 氣付
印刷所 富士製版印刷(株)
世田谷区下馬四十七 十七